

特別展「没後 70 年 南薫造」の開催について

〔令和 3 年 4 月 19 日〕
〔文化芸術課〕

1 要 旨

広島県立美術館において、令和 3 年 4 月 20 日（火）から令和 3 年 6 月 13 日（日）までの間、特別展「没後 70 年 南薫造」を開催する。

2 特別展の概要

呉市安浦町出身の南薫造（1883－1950）は、近代日本洋画史を代表する画家の一人である。本展では、清新な作風で注目を集めた滞欧作をはじめ、印象派の影響が見られる油彩画や、みずみずしい水彩画など代表作を網羅し、穏やかで気品に満ちた画業の全貌を紹介する。

（1）会 期 令和 3 年 4 月 20 日（火）から令和 3 年 6 月 13 日（日）まで

（49 日間、月曜日は休館。ただし、祝日の場合は開館）

（2）開館時間 9：00～17：00（金曜日は 20：00 まで開館、入場は閉館の 30 分前まで）

（3）入館料 一般 1,400 円、高・大学生 900 円、中学生以下無料

※前売り・20 名以上の団体は当日料金より 200 円引き

3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

来館者に対し、入館時の体温確認、マスクの着用、手指アルコール消毒、展示室内でのソーシャルディスタンスの確保を依頼することに加え、AI カメラを活用した混雑状況の発信を「広島県立美術館HP」や広島県観光HP「ひろしま観光ナビ」でリアルタイムに行うことで、安心して来館できる環境を提供する。

4 その他美術館等の連携

本展入館券の提示により、縮景園に 100 円で入園できる。

また、本展会期中、ひろしま美術館及び広島県立美術館の 2 館で相互割引を実施する。

（2 館のいずれかの特別展チケット（半券可）の提示で、当日料金を 100 円割引）

没後70年

南 薫 造

日本の印象派

2021(令和3)年

4月20日(火)―6月13日(日)

休館日/月曜日(ただし祝日の場合は開館)
開館時間/9:00~17:00(金曜日は20:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館情報等に変更の生じる場合がございます。
最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

料 金 / 一般 | 1,400円 高・大学生 | 900円 **小・中学生無料**

- 前売り20名以上の団体は当日料金より200円引き
- 前売券は、広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード: 087-768)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)などで販売しています。
- 学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。
- 会期中、本展チケットのご提示(半券可)により、100円で縮景園に入園できます。

主催/広島県立美術館、イズミテクノ、NHK広島放送局、NHKエンタープライズ中国、中国新聞社
後援/中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかい76.1MHz、FM東広島89.7 MHz

協賛/水田興業 広島県信用組合 一般財団法人ケンシン地域振興財団
地域連携協力/くれしん芸術文化財団、南薫造記念館、安浦町まちづくり協議会、呉市立安浦小学校
制作協力/NHKプロモーション

 **広島県立美術館**
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
Tel: 082-221-6246 Fax: 082-223-1444 URL: <https://www.hpam.jp/>

南薫造《坐せる女》1908年 広島県立美術館

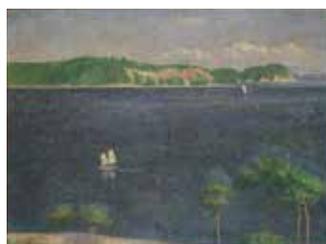


ワンコイン縮景園
1 COIN SHUKKEIEN

没後70年 南 薫造 日本の印象派

広島県呉市安浦町出身の南薫造(1883・明治16-1950・昭和25)は、近代日本洋画史を代表する画家の一人です。1907(明治40)年、東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後に渡欧。イギリスやフランスに滞在し、人物画を学ぶとともに、各地で写生を重ねて風景表現に磨きをかけました。帰国後は文展で連続受賞を果たし、新進作家として活躍。印象派風の光の表現を取り込みながら、人々の穏やかな生活が息づく町並みや農村、季節の変化が織り成す自然美などを、温かな色遣いで描いた風景画で知られています。

画家の没後70年を記念して開催するこのたびの展覧会は、ヨーロッパ留学時代の作品や、文展や帝展、日展出品作、アジア各地に取材した風景画をはじめとする代表作を網羅し、初期から晩年までの画業の全貌をご紹介します。瀬戸内に取材した伸びやかな油彩画や素朴で愛らしい木版画、季節の変化をみずみずしく捉えた水彩画や日本画、さらには絵日記や絵葉書などの資料も含めたおよそ250点により、豊かで温もりのある色彩に彩られた清新な画業を辿る、決定版の回顧展です。



《瀬戸内海》1905年 東京藝術大学



《六月の日》1912年 東京国立近代美術館



《高原の村の朝》1941年 ひろしま美術館



《少女》1909年 東京国立近代美術館



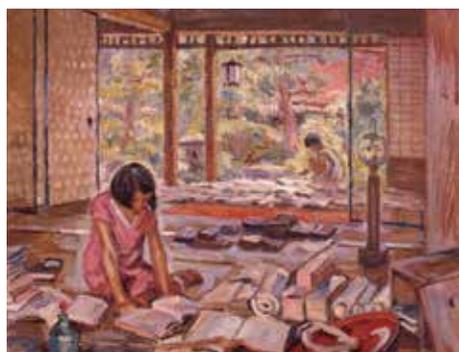
《白壁の農家》1908年 広島県立美術館



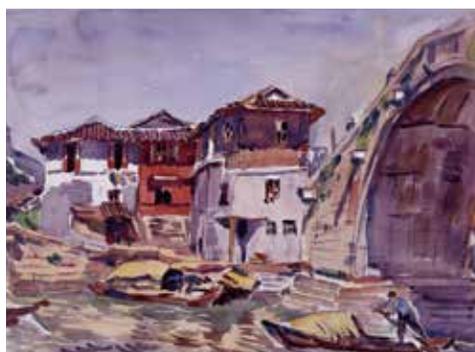
《うしろむき》1909年 広島県立美術館
【前期展示】



《夏》1919年 ふくやま美術館



《曝書》1946年 広島県立美術館



《水辺彩屋》1939年 広島県立美術館【後期展示】

※会期中、一部展示替えがあります(前期4月20日～5月16日、後期5月18日～6月13日)

関連イベント

■講演会1 (共催:広島県立美術館友の会)

南薫造とその周辺

4月24日(土) 13:30～15:00 [開場13:00]
講師 | 倉橋清方(元・呉市立美術館長)
会場 | 地階講堂
※聴講無料、要事前申込(電話082-221-6246)

■講演会2

色彩画家・南薫造の生涯と芸術

5月22日(土) 13:30～15:00 [開場13:00]
講師 | 藤崎綾(当館主任学芸員)
会場 | 地階講堂
※聴講無料、要事前申込(電話082-221-6246)

■学芸員によるスライドトーク(40分程度)

5月14日(金)、5月21日(金)、6月11日(金)
各日 〇11:00～ 〇18:00～
会場 | 地階講堂
※聴講無料、要事前申込(電話082-221-6246)

■インスタライブ配信

当館公式インスタグラムからギャラリートークを配信



県美×ひろ美 相互割引

本展会期中、ひろしま美術館で開催中の特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、当日入館券を100円割引でお求めいただけます。詳しくは同館にお問い合わせください。
※1枚につき1名様有効 ※その他の割引との併用はできません

■南薫造の生家

南薫造記念館

没後70年 南薫造展Ⅱ

愛しき人・親しき風景

2月4日(木)～
5月30日(日)



※広島県立美術館の半券を受付にご提示いただくと、オリジナル絵はがきがもらえます。

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10

TEL: 0823-84-6421

御来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。ご理解とご協力をお願いします。

次に該当するお客様は、入館をご遠慮ください。
発熱や、軽度であっても咳、のどの痛みなどの症状がある方

【ご協力のお願い】

- マスク着用 ○手指のアルコール消毒
- 咳エチケット
- 会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。
- 人と人との接触を避けるため、できるだけ1mの距離を空けてください。
- 来館者が多い場合は、入場制限を行う場合があります。

開催情報に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで。

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
Tel: 082-221-6246 Fax: 082-223-1444
URL: <https://www.hpam.jp/>



・JR広島駅より約1km・広島城より約400m
・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m
・ひろしまめいぶる～ぶ(広島駅新幹線口のり)は発着、市内循環バス「県立美術館前」下車約80m